

# ほたる

## コロナ禍からの脱却 模索しながら 地域の未来ひら

新型コロナウイルスが5類に移行して4ヶ月。確かに重症化は激減したものの、この間にも集団感染が起きているように、しぶといウイルスとの付き合い方について、一定程度意識せざるを得ない状況がしばらく続きそうです。

しかし、コロナ禍からの脱却も同時に考えなくてはなりません。5月には4年ぶりに地区と小学校の合同運動会が復活しました。事前協議により種目を絞っての開催でしたが、児童&町内テントが囲む中、久々の大歓声。「やっぱり良いですねえ。盛り上がりが全然違います。」本部テントで校長が目を細めていらっしやいました。

続く7月の納涼まつり。こちらも4年ぶりに飲食・催事ブース復活。ただ、平坦な道のみではありませんでした。

丸3年のブランクによりノウハウの引き継ぎが途切れ、町内会・各種団体には、相当のご負担となります。

町内会加入率は市全体で63%と3軒に1軒が未加入。中ノ郷も7%に低下。「住民の皆さんで地域づくり」の素地を育む上で、地域イベントの役割は極めて重要です。しかし、役員の負担軽減を求める声を無視すれば、『町内会離れ』に拍車をかける恐れもあります。

また『協賛金募集』。コロナ影響によ



中ノ郷ふるさとづくり協議会  
会長 福浜 隆宏

る経済低迷に空前の円安、物価高騰の折「果たして集まるのか。そもそもお願いして良いタイミングか？」など企画会で慎重に議論を重ねました。

その結果、「4年前と同じ催事内容を求めず町内・団体にお任せしよう。協賛金募集も無理強いは止めよう」という結論に達し、実行委員会です承を得ることが出来ました。

おかげさまで町内・団体とも十分に意を汲んで主体的に動いていただき工夫を凝らした催事が実現出来た上、目標を上回る協賛金が集まりました。関係者のご努力に心からの敬意と感謝を申し上げます。

地域づくりの手段に正解はないと考えています。「昔こうだったから」ではなく「今」を主眼に、多くの方々に参加していただくこそが中ノ郷の未来へと繋がっていくと思います。



納涼まつり(7月)  
ご協賛(61社)により25発打ち上げ

## 中ノ郷ふるさとづくり 協議会

### 令和5年度役員

会長 福浜 隆宏

副会長 田中 規靖

事務局長 濱田 英紀

本城 勝幸  
(八月まで)

監事 中嶋 真理

高田 治美

赤松 崇志

総務広報部会 伊澤ゆう子

伝統文化部会 大島 徳明

環境美化部会 小川 博文

健康福祉部会 家納 博江

世代交流部会 出口 裕二

部会長

# 各部長ごあいさし

○総務広報部 伊澤ゆう子 部会長

今年度も2回「ほたる」を発行し、中ノ郷地区の皆様には、地区の様々な行事の様子などをお届けします。

○伝統文化部 大島 徳明 部会長

今年中は中ノ郷連の参加する鳥取しゃんしゃん祭りが鳥取市中心市街地で開催されました。中ノ郷まつりもコロナ禍以前の内容にて開催する予定です。みなさま大いに盛り上がりましょう！

○環境美化部会 小川 博文 部会長

今年3回環境美化活動を実施。10月に初めて「摩尼寺周辺」で実施予定。

○健康福祉部会 家納 博江 部会長

敬老祝賀事業は協議の結果、コロナ感染を鑑み、今年度も記念品配布の形を取るようになりました。

○世代交流部会 出口 裕一 部会長

地区5大行事の内、運動会と納涼祭を担当しています。コロナが明け、地域に元気が戻って来るようがんばります。

# 4年ぶりの地区大運動会開催

実行委員長 出口 裕一



4年ぶりに、中ノ郷地区大運動会が開催されました。今年も、子ども達の競技に加え、大人達も地区対抗競技に盛り上がりました。

地区種目は、総合リレー、人間ハムスター、一気飲み、旗とりを行い、地区対抗種目の総合リレーとハムスターで争った結果、北園二丁目、円護寺 & 円護寺団地、覚寺口の3町内が並び、同点優勝と決定しました。

4年ぶりの地区大運動会ということもありましたが、地区と学校が協力して運動会の進行を滞りなく行うことができました。

この運動会のために、何日も前から準備をしていただいた地区役員の方、PTA役員の方、先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 5大事業の予定

- 運動会……………(5月21日) 終了
- 納涼まつり……………(7月29日) 終了
- しゃんしゃんまつり……………(8月14日) 終了
- 敬老会……………(9月18日) 終了
- 中ノ郷まつり……………(10月21日～)

編集後記

3年間続いたコロナ禍も落ち着き、今年度から地区の行事も元に戻りつつあります。久しぶりの地区行事を是非楽しんでください。(伊)